

ホッポ

北方型住宅を建てる

エピソード
1



しょうかい キャラクター紹介



ホッポ

- ・エゾモモンガ3兄弟の末っ子
- ・明るく優しく甘え上手な末っ子キャラ
- ・家族のため安心できる家を建てるのが夢



エコとフタマル

- ・ホッポの妻と長男
- ・2人とも明るくフレンドリーな性格
- ・アイスクリームが好き



ホップ

- ・エゾモモンガ3兄弟の次男
- ・真面目で責任感が強い
- ・背が高くスマートなのでモテる



エリー

- ・ホップのガールフレンド
- ・ホップとの楽しい生活にあこがれている



ホッパ

- ・エゾモモンガ3兄弟の長男
- ・真面目だがおっちょこちょいな性格
- ・おもちが好きで体形もおもちに似ている



ツノじい

- ・村の長老
- ・村の安全のため毎日欠かさずパトロールをしている



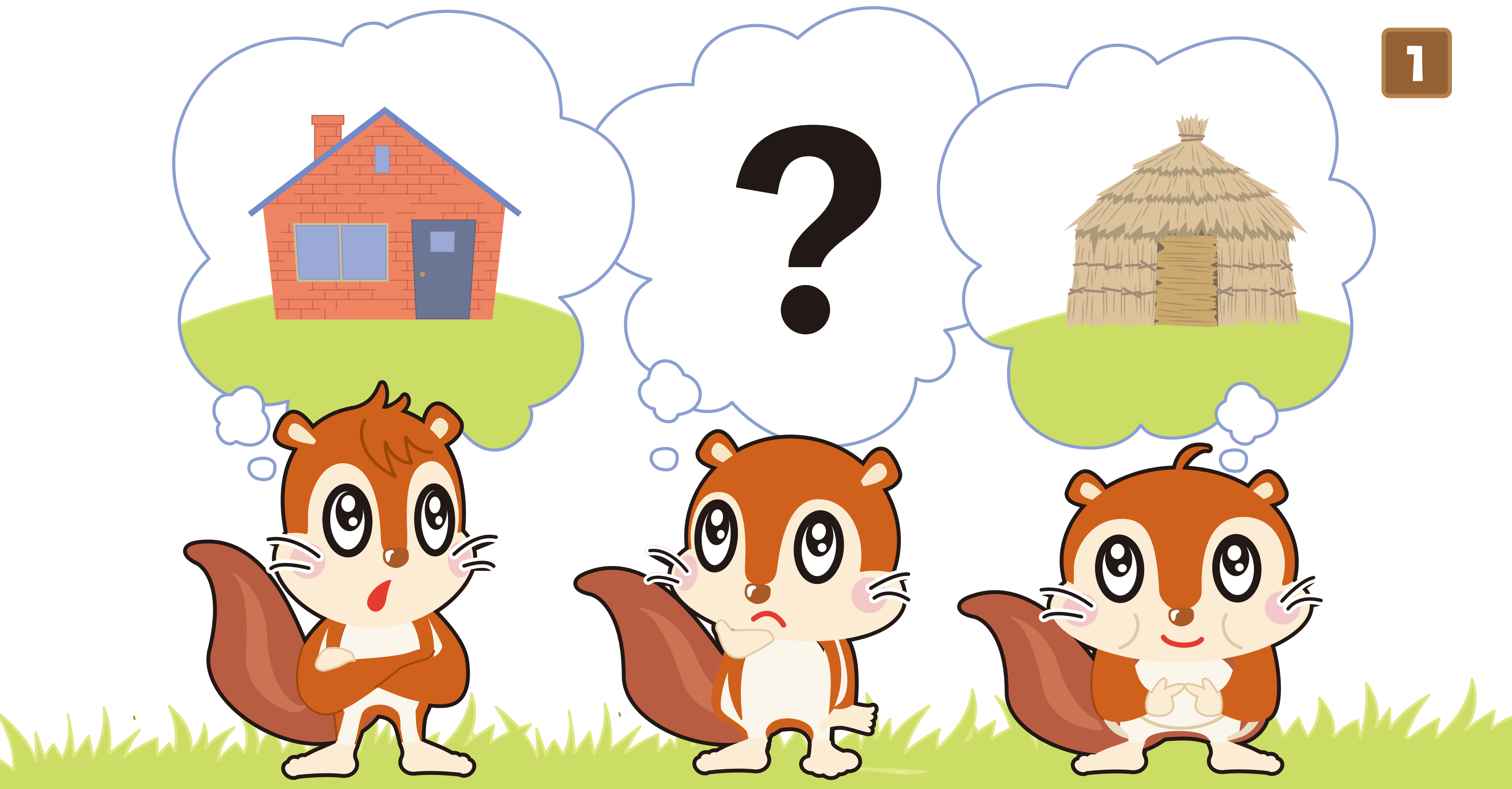
ビッスン

- ・家づくりの専門家
- ・知識が豊富で親切。頼りがいがある



フクロウ

- ・モモンガたちの天敵
- ・家族と山に暮らしているが、山ではクマにおびえながら不安な日々を過ごしている



むかしむかし、ある村に、三匹のエゾモモンガがいました。
 みんなの名前は、一番のお兄さんが『ホッパ』。二番目のお兄さんが、『ホップ』。
 三番目の弟が、『ホッポ』です。
 さてエゾモモンガ3兄弟は、それぞれ自分のお家をつくることになりました。



ひとり身のホッパは、早くて簡単、ワラのお家をつくることにしました。
 ワラをなわでしばって、ギュッ、ギュッ、ギュッ、はい1番早く出来上がりました。



ガールフレンドのエリーと暮らすホップは、レンガのお家をつくることにしました。
2匹仲良くレンガを運んで、レンガをつんで、はい出来上がりました。



妻のエコと子どものフタマルと暮らすホップは、「家族のためにもじょうぶであたたかい」お家をつくりたいと考えますが、一体どんなお家をつくったら良いかわからずなやんでいました。すると道沿いの木にこんなポスターが…。



わたしに、あしたに、
やさしい住まい？
きたかたがたじゅう
たく？？？？

それは、
ほっぼうがた
じゅうたくって
読むんじゃよ

ほっぼうがた
じゅうたくはとてもじょうぶで
あたたかいお家なんじゃよ。
しかも、山や村の気候や草木など
自然にもやさしい家なんじゃ

「わたしに、あしたに、やさしい住まい？…、きたかたがたじゅうたく？……？？」

「それは、ほっぼうがたじゅうたくって読むんじゃよ」

「ほっぼうがたじゅうたくはとてもじょうぶであたたかいお家なんじゃよ。しかも、山や村の気候や草木など自然にもやさしい家なんじゃ」と村の長老のツノじいがおしてくれました。



ほっぼうがたじゅうたく
北方型住宅を
建てたいけど、
どうしたら
いいの？

いえ
家づくりの専門家
のビジネスに相談
するとよいぞ

ホッポは、「ほっぼうがたじゅうたくを建てたいけど、どうしたらいいの？」と聞くと

「いえ 家づくりの専門家のビジネスに相談するとよいぞ」とツノじいがおしてくれました。



ホッポは、ビズンをたずね、お家づくりについて相談しました。
 何度も話し合いを重ねながらホッポの希望もつたえ、時間をかけてようやく、
 ホッポが望んだ素晴らしい住宅が出来上がりました。



「ワイ、出来た、出来た」
 全員のお家が出来たころにはすっかり冬になっていましたが、自分たちのお家が出来て、
 エゾモモンガ3兄弟はとてごきげんです。



ある日、山に住んでいるフクロウが、モモンガ3兄弟の住む村にやってきました。
 「おなかをすかせた子どもたちのためにモモンガをつかまえよう」
 すると、ホッパのワラのお家を見つけました。



「ここを開けておくれ。ぼくをお家に入れとくれよ」
 ホッパは、ビックリして答えました。
 「とんでもない! ぜったいにいやだよ!」



するとフクロウは、「よし、そんなら、家にいられないくらい寒くしてやる!」とおそろしい声でどなり、フクロウはつばさを広げてふぶきをおこしました。ワラのお家にはスキマが多く、家の中はどんどん冷えていきました。ホッパは寒くて思わず外に出てしまい、フクロウにつかまりました。



さて、それからフクロウは、ホップとエリーのレンガのお家にやってきました。「ここを開けておくれ。ぼくをお家へ入れとくれよ」ホップはビックリして、戸を押さえて言いました。「とんでもない! ぜったいにいやだよ!」



するとフクロウは、おそろしい^{こえ}声でどなりました。
「よーし、そんなら、家^{いえ}にいられないくらい寒^{さむ}くしてやる！」
フクロウが^{ひろ}つばさを広げてふぶきをおこしましたが、レンガのお家は、
^{うち}ワラのお家よりすきまがないため、まだまだ大丈夫です。



「よし、こうなったら家^{いえ}をゆらしてこわしてやる！」
フクロウは^{だいち}大地をゆらしました。ドシーン！
ホップとエリーは、レンガがくずれそうなので^{おも}思わず^{そと}外^でに出てしまいました。
そしてフクロウにつかまりました。



さて、それからフクロウは、ホップファミリーが暮らす北方型住宅へやってきました。
 「ここを開けておくれ。ぼくをお家に入れとくれよ」
 ホップもビックリして、
 「とんでもない! ぜったいにいやだよ!」といいました。



するとフクロウは、おそろしい声でどなりました。
 「よーし、そんなら、家にいられないくらい寒くしてやる!」
 フクロウがつばさを広げてふぶきをおこしましたが、北方型住宅は
 すきまがほとんどないため、まだまだ大丈夫です。



「よし、こうなったら家をゆらしてこわしてやる！」

フクロウは大地をゆらしました。

ドシーン！

でも、大きなゆれにも強い北方型住宅はビクともしません。



フクロウは、うなりました。

「こうなったらえんとつからばいきんをまきちらしてモモンガたちを弱らせてやるぞ！」

フクロウの言葉を聞いても、ホッポファミリーは全くあわてません。

それは北方型住宅が、いつでもしんせんな空気にいれかわり、安心して快適なお家だからです。



技を出しつくし、疲れきったフクロウは、フラフラと屋根の上に落ちてきました。
 「もう動けないよー！助けてー、このままじゃこおってしまうよー」泣きさけぶフクロウに、
 ホッポが言いました。「つかまえたお兄さんたちをかえすか？」
 フクロウは「かえすから助けてくれー！」と言い、ホッポと約束をしました。



なんてあたたかい
 お家なんだ。木のぬくも
 りも感じられる。
 それに、飛び回れるほど
 の広々とした空間も
 ある…。

ホッポはフクロウをお家に招き入れました。
 するとフクロウは、言いました。
 「なんてあたたかいお家なんだ。木のぬくもりも感じられる。
 それに、飛び回れるほどの広々とした空間もある…。」



フクロウの体はみるみるあたたまり、すっかり元気になりました。
「アイスクリームでも食べよう」とホッポがアイス^{なか よ た}をわたし、みんなで仲良く食べました。
フクロウはすっかり改心^{かいしん}して、ホッパとホップたちを解放^{かいほう}すると、「いいお家^{うち}だったなあ」と
つぶやきながら、おみやげのアイスクリーム^{も やま かえ}を持って、山に帰っていきました。



しばらくの間、ホッパとホップたちは、ホッポの北方型住宅^{ほっぽうがたじゅうたく}に借りぐらし。
部屋^{へや}のしきりを自由^{じゆう}に変えられるので、思い思いに、みんな^{おも おも}で楽しく暮^{たの}らしました。

ぼくも次、
家を建てる
なら
北方型住宅に
しよう！



ホッパとホップは宣言しました。
「ぼくも次、家を建てるなら北方型住宅にしよう！」
そして、この村にまた新しいエゾモモンガ兄弟の北方型住宅が建ちました。



一方、新しい北方型住宅はここ山奥にも…。
山へ帰ったフクロウが家族のために建てた北方型住宅です。
フクロウ家族も新しいお家で仲良く快適に暮らしましたとさ。
おしまい。